

平成24年第5回（9月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

この度、滋賀県大津市における中学2年生の自殺という痛ましい事件を受けて学校や教育委員会の対応のあり方が、マスコミ等で取り上げられ報道されています。

この事件では、いじめられている児童生徒を守るべき教員がいじめを見逃していた可能性があることや、事件発生後の学校や教育委員会の対応が不適切であったことが指摘されています。

この事件を受け本市では、7月11日に市内全小中学校に対し、いじめの実態について聞き取り調査を行い、現時点で学校が認知しているいじめはないことを確認しました。続いて、7月12日に文部科学省から出された通知や資料とともに、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応に向け、教職員が「いじめはどの学校にも、どの子にも起こり得る」という視点で児童生徒の現状をしっかりと把握するよう各学校長、幼稚園長に指示をしました。

今後とも、学校、家庭、地域社会、関係機関等が一体となって地域の子どもは地域で育てるという意識のもとに取組を進め、「開かれた学校づくり」「信頼される学校づくり」を一層進めてまいりたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学力・学習状況調査について

平成24年度の「岡山県学力・学習状況調査」の結果及び市独自の「学力・学習状況調査」の結果について概要をお知らせします。

岡山県の学力・学習状況調査は、昨年度に引き続き中学校1年生を対象に4月に実施されました。国語、数学、理科、社会の4教科のうち、理科以外の3教科は、昨年度に比べ正答率が向上しました。

全教科を通じ、知識、理解などの基礎的な力は、ほぼ水準に達していますが、思考、判断、表現などの活用する力はやや低い傾向が見られました。

市独自の学力・学習状況調査は、小学校4年生・5年生と中学校2年生を対象に4月に実施しました。全体の傾向として、小学校では、国語の書く力に課題がありますが、読む力が向上しています。算数は、知識・理解や技能は水準に達していますが、算数への関心・意欲に課題があります。

中学校では、国語、数学ともに期待する正答率にほぼ達しています。特に国語の関心・意欲と言語についての知識・理解、数学の数量や図形についての知識・理解が高くなっています。

学習や生活の状況については、毎時間の授業で、目標がよく分かり、まとめをきちんと行うことができたと答えた児童生徒は増えていますが、算数などの教科の勉強が好きだと感じている児童生徒は県平均を下回っています。また、学習習慣が身につけている児童生徒と、そうでない児童生徒との差が大きく、学習意欲や学習態度にも影響しています。特に家庭学習の時間が少ないことが課題です。

今後は、各学校で「学力・学習状況改善プラン」を作成して「わかった・できたが実感できる授業づくり」を目指し、小学校と中学校が連携した取組を行っていきます。また、家庭学習アシスト事業や学校支援地域本部事業を活用し、家庭や地域の協力を得ながら家庭学習の充実を図っていききたいと考えています。なお、市全体の傾向については、今後、市のホームページでお知らせする予定です。

○ 中学校体育全国大会及び中国大会への出場について

7月に行われました岡山県中学校総合体育大会で県代表となり、全国大会及び中国大会に出場した部活動について報告します。

今回、県代表となったのは、邑久中学校の剣道部と陸上競技部です。剣道部は、8月4日に鳥取県で開催された中国大会の個人戦男子の部に、3年生男子2名が出場し、健闘しました。

陸上競技部は、8月8日、9日に山口県で開催された中国大会に、1年生男子、女子、3年生男子の3名が出場しました。1年生男子1,500m走は第8位、1年生女子800m走は第4位、3年生男子100m走は第6位、3年生男子200m走は第3位とそれぞれ入賞を果たし、健闘しました。同じく陸上競技部の3年生女子1名は、8月19日から千葉県で開催された全国大会の走り幅跳びの部に出場し、健闘しました。

○ 備前長船刀剣博物館・美術館の特別展・企画展の開催について

備前長船刀剣博物館では、「ものづくり」をテーマに日本の伝統工芸が結集した日本刀の匠の技と人気アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」を組み合わせた特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」を7月14日から9月

17日まで開催しています。

特別展ではアニメに登場する武器などをモチーフに刀剣の職方が伝統技術を駆使しつつ新たな表現を目指した作品18点をはじめ備前長船、関の孫六の名刀や甲冑、小道具を展示し、日本刀の魅力やその聖地である「備前長船」を全国に発信する機会となっています。7月15日には、昨年開催した特別展「戦国 BASARA HERO 武器・武具列伝」の一日の来館者を上回る1,883人の来館者がありました。8月14日現在で全国から20,263人の来館者がありました。

また、美術館では、夏休み企画展として「ノブ・サチ 夢の世界展」、「細見博子 ワンダーランド展」を8月3日から9月9日まで開催しています。また、初めての取組として、「瀬戸内市立美術館公募展」を7月25日から9月9日まで開催しています。公募展では、日本刀をモチーフにした作品を6月1日から7月10日に公募したところ、イラストだけでなく、陶器、木工、ガラスや針金を使用した立体物など全国から111点の出品があり、新たな芸術の発表の場として全国に発信する機会となりました。

○ 図書館運営及び新図書館整備について

新図書館整備について市民の皆様のご意見をお聞きする、4回目の「としょかん未来ミーティング」を7月20日に開催しました。初めての平日の夜の開催でしたが、中学生を含む47人の方々にご参加いただき活発な意見交換をしていただきました。内容としましては、本年3月に策定しました「新図書館整備基本計画」と郷土資料館機能についてご説明した後、グループに分かれて基本計画に提示した各機能について具体的

な意見を出していただきました。

また、新図書館整備については、中央公民館北側の邑久郷土資料館を解体した跡地を候補地としてご提案しているところです。今議会では、邑久郷土資料館の解体設計、家屋事前調査等の必要経費を補正予算に計上していますのでよろしくお願いします。

現図書館の運営ですが、移動図書館の夏休み特別巡回としまして、放課後児童クラブやスポーツ施設への貸出、また資料が不足している小中学校の「学級文庫」への団体貸出などを行いました。炎天下にもかかわらず、多くの子どもたち、また教職員に「せとうちまーる号」から多くの本を借りていただきました。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成24年9月4日

瀬戸内市教育委員会

教育長 山崎 宗則